

第12回のキーワード

1

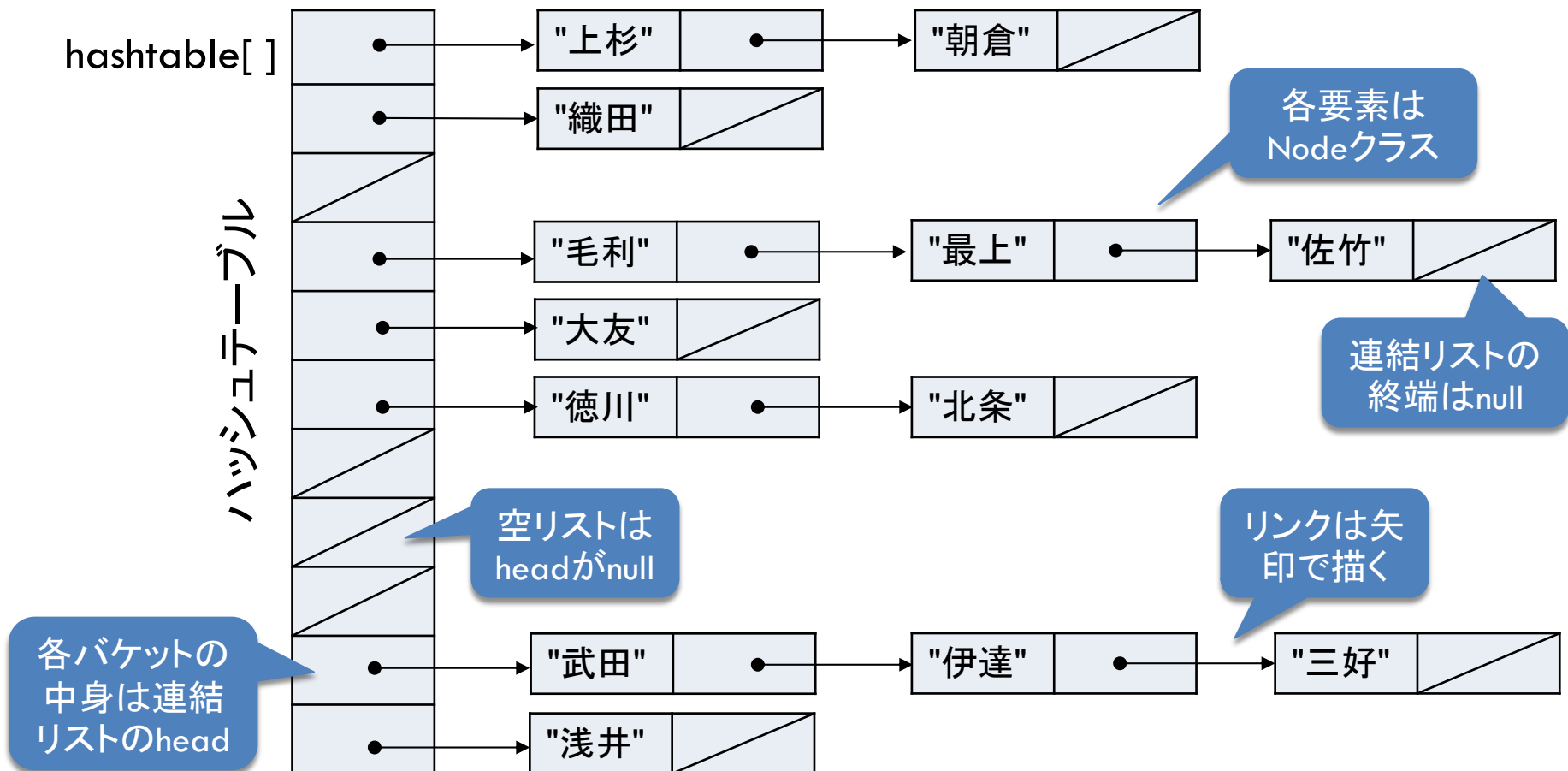
アルゴリズム関係

- 木構造 (tree structure)
- 木, 根, 節, 葉
(tree, root, node, leaf)
- 部分木 (subtree)
- 親, 子, きょうだい
(parent, children, sibling)
- 木の高さ (height)
- 節の深さ (depth)
- 2分木 / 2進木
(binary tree)
- 多分木 / N分木
(multi-branch / n-ary tree)
- 木の巡回 (走査)
(tree traversal)
- 深さ優先探索
(depth first search)
- 行きがけ順 / 先行順
(preorder)
- 通りがけ順 / 中間順
(inorder)
- 帰りがけ順 / 後行順
(postorder)
- 幅優先探索
(breadth first search)
- 2分探索木
(binary search tree)

ハッシュテーブル:チェーン法

2

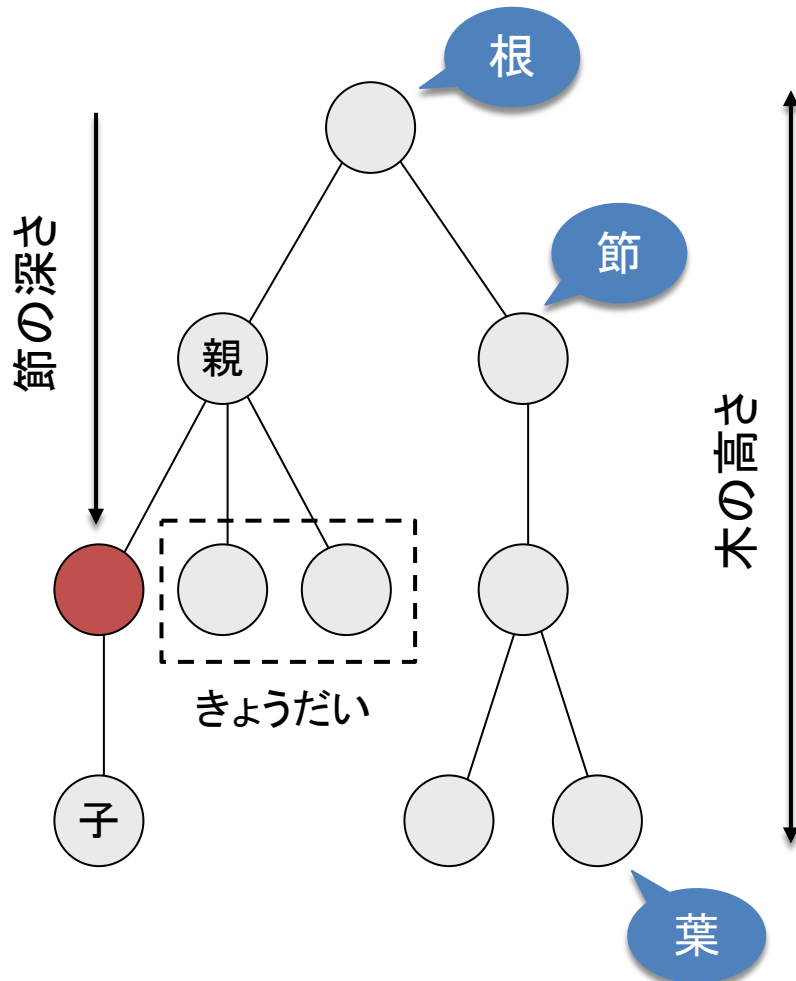
- 各バケットを連結リストにして複数の値を格納する



木構造 (tree)

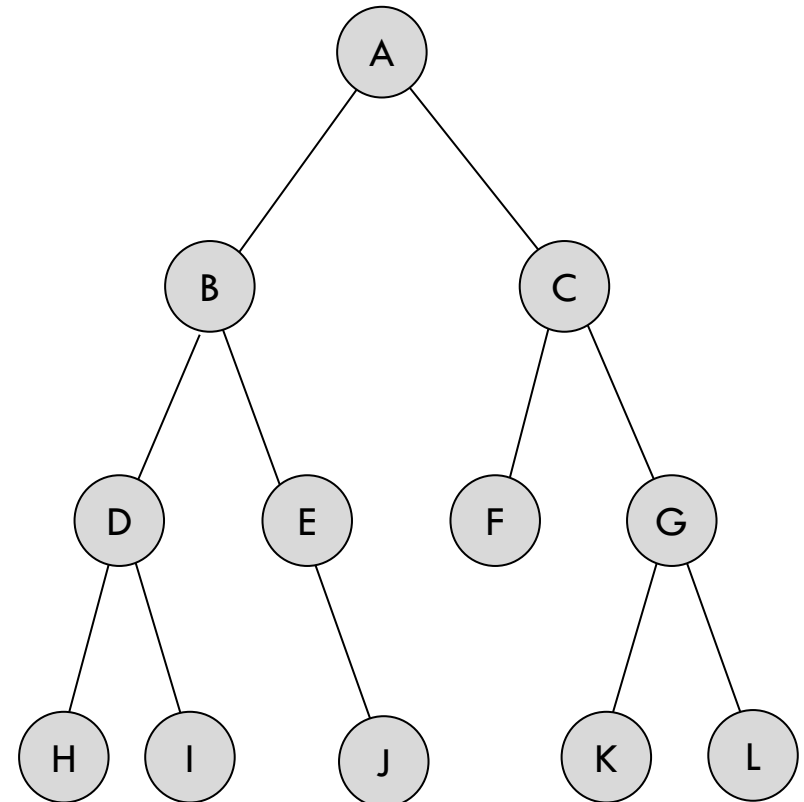
3

□ 木構造 (多分木)



□ 2分木 (2進木)

- 子の個数が2つ以下
- 子の左右を区別する



2分木の実装

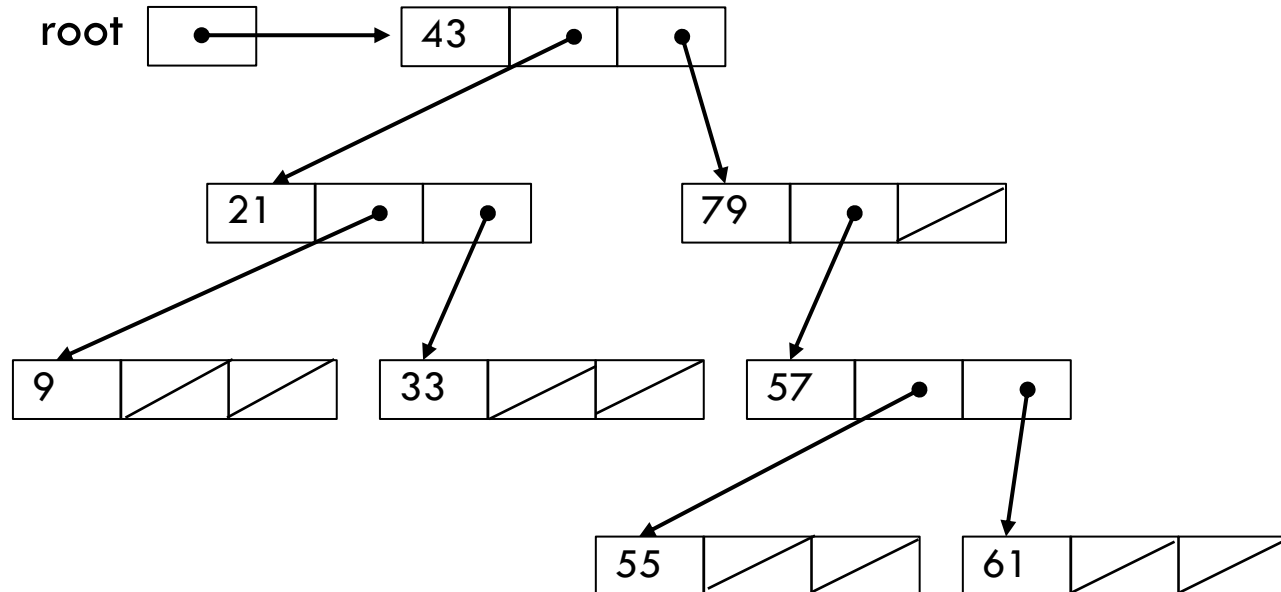
4

□ ノードの構造と定義



```
class Node {
    String data;
    Node left;
    Node right;
}
```

□ 2分木の实装例

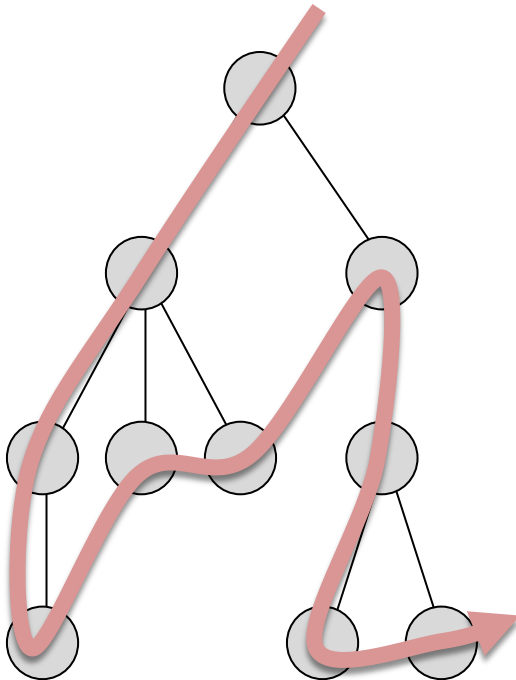


木の巡回

5

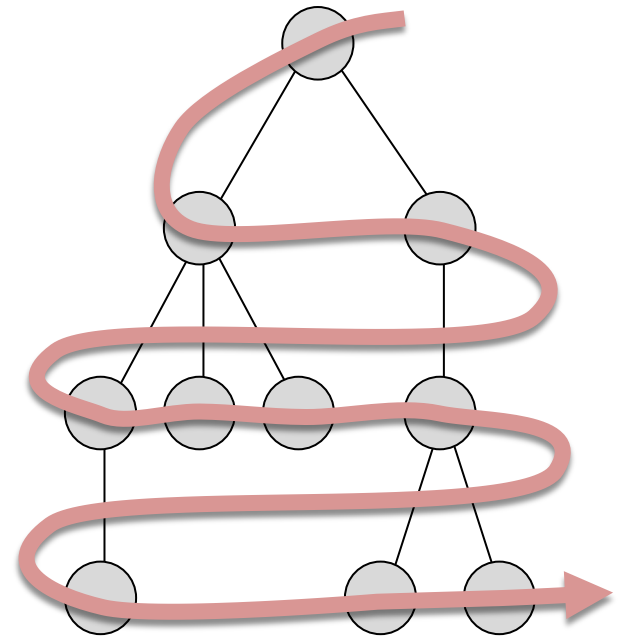
□ 深さ優先探索

- きょうだいより先に子をたどる
- 再帰(内部でスタックを使用)を用いると, 実現が簡単



□ 幅優先探索

- 子より先にきょうだいをたどる
- キューの操作が必要なので, 深さ優先よりも実現が難しい



深さ優先探索

6

- 行きがけ順（先行順）
 - ▣ たどり着いたノードを最初に処理
 - ▣ ノードを処理 → 左の部分木を処理 → 右の部分木を処理

- 通りがけ順（中間順）
 - ▣ たどりついたノードを中間で処理
 - ▣ 左の部分木を処理 → ノードを処理 → 右の部分木を処理
 - ▣ 2分枝探索木において、整列つされて表示される順序

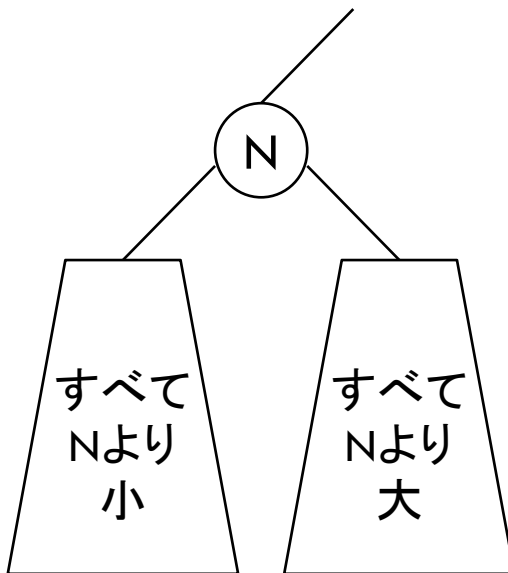
- 帰りがけ順（後行順）
 - ▣ たどり着いたノードを最後に処理
 - ▣ 左の部分木を処理 → 右の部分木を処理 → ノードを処理

2分探索木

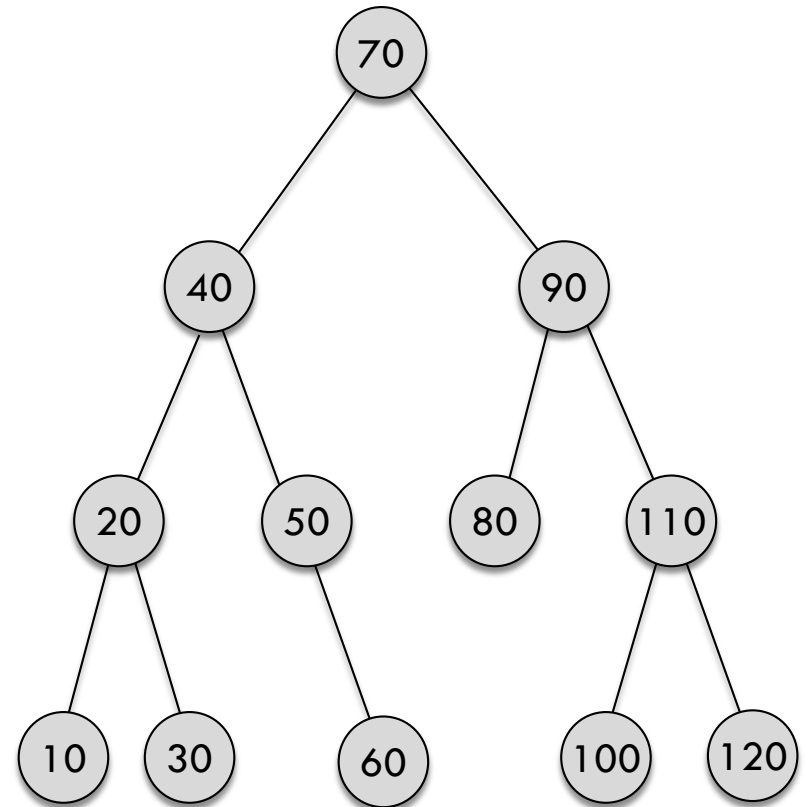
7

□ 定義

- 任意のノードNについて
- Nの左の子孫(左の部分木の要素)は、すべてNより小さい
- Nの右の子孫(右の部分木の要素)は、すべてNより大きい



□ 例



要素の探索と追加

8

□ 要素の探索

- 根から要素を比較していく
- ノードとキーとの大小(前後)関係により, 右または左の子をたどっていく

□ 要素の追加

- 探索によって要素を発見できなかったら, その位置に新しいノードを追加する

□ 木のバランス

- 理想的な2分探索木は?
- そのときの平均計算量は?

□ 例

- 60を探索する場合

